市報
たかはぎ

9月号　'86　No. 319

編集・発行／高萩市役所市長公室　☎(0293)23－2111

高萩市市民憲章 昭和49年11月1日制定

1. 自然をたいせつにし，美しいまちをつくりましょう
1. きまりを守り，明るいまちをつくりましょう
1. 礼儀を正しくし，うるおいのあるまちをつくりましょう
1. 元気で働き，豊かなまちをつくりましょう
1. 思いやりのある，あたたかいまちをつくりましょう

夜空に咲く大輪の華

八月十六日(土)　関根川河口で行われた第四回高萩とうろう流しと花火大会には、たくさんの市民が訪れ、「夏の夜空に咲く大輪の華」の音と光の競演に歓声をあげていました。

21世紀をめざして

高萩市新総合計画基本構想

〝海と緑を生かした〟産業文化都市の創造

高萩市では、昭和四十七年にまちづくりの基本指針となる「総合振興計画基本構想」を策定し、それに従って第一次から第三次までの基本計画を定め、さまざまな具体的施策を行い、住みよい都市の実現に努力を重ねてきました。

その基本構想も、昨年、目標年次の昭和六十年を迎え、時代の変化に合わせた改定が必要となり、昨年の十二月定例市議会で、「新総合計画基本構想」が議決されました。今回は、この基本構想を紹介します。

将来像

高萩市は、山と海に代表される自然資源に恵まれ、歴史的にも多くの遺産を持っています。こうした資源を生かしながら、高萩らしさの創出に努め、市民がやすらぎを求められるような地域づくり、まちづくりを行っていくことが、高萩市のめざす基本目標です。

人がやすらぎを覚えるのは、豊かな自然に抱かれ、健康で安全な生活を送りながら、確かな明日への展望をもてる環境にあるときです。こうした環境を高萩市というひとつの特色ある地域として形成するためには、一方で自然資源の保全、活用に努め、広域社会の中で高萩市の果たすべき役割を認識しながら、文化面も含めて都市機能の向上を図り、変化する産業動向や交通条件に対応した地域経済の振興に力を入れていかなければなりません。

これらのことを踏まえたうえで、二十一世紀へ向けた高萩市の将来像を

〝海と緑を生かした産業文化都市〟

と定めました。

本計画は、こうした目標に向かって将来の高萩市をつくりあげていこうとするものです。

将来の人口

高萩市の人口は、石炭産業の衰退とともに、昭和四十五年には、↖

年齢別人口の想定

単位：人

年次		昭和55年	60	65	70	75
総人口		32,436	33,968	36,000	42,000	50,000
年齢3区分別	年少人口（0～14歳）	7,887 (24.3)	7,813 (23.0)	7,000 (19.4)	8,600 (20.5)	11,300 (22.6)
	生産年齢人口（15～64歳）	21,530 (66.4)	22,555 (66.4)	24,500 (68.1)	27,900 (66.4)	32,000 (64.0)
	老年人口（65歳以上）	3,019 (9.3)	3,600 (10.6)	4,500 (12.5)	5,500 (13.1)	6,700 (13.4)

（注）（　）内は構成比であり，単位は(%)です。

計画の背景

昭和六十年は、高萩市の社会経済に多大な影響を与える常磐自動車道が、日立北インターチェンジまで開通し、首都東京との時間距離が大幅に短縮されました。また、筑波研究学園都市で開催された「国際科学博覧会」を契機として、茨城県全体がかつての農業県的イメージから、新しい科学技術を生かした先進産業県へと脱皮を図りつつあります。

さらに、今後高萩インターチェンジ供用など、高萩市を取り巻く社会経済条件は大きな変化の節目を迎えています。

全国的にも、情報化社会、高齢化社会、国際化社会への移行や、経済のサービス化、ソフト化の進展、国民の価値観の多様化等が進み、まちづくりにおいても新しい視点、新しい対応姿勢が求められつつあります。

このような中で、高萩市をさらにバランスよく、しかも効率よく発展させていくために、二十一世紀を展望し、昭和七十五年（西暦二、〇〇〇年）を目標年次とする、新しい環境のもとで、新総合計画を策定しました。

この新総合計画は、今後の高萩市のすべてのまちづくり活動の基本的なみちしるべとなるものです。

上位計画等の関連

よりよいまちづくりは、市の力だけで達成されるものではなく、地域住民をはじめ、国、県等ともそれぞれ果たすべき役割を分担し、相互に協力、連携しあって各種施策の遂行を図らなければなりません。

関連する国、県等の主な計画としては、

第四次全国総合開発計画
新茨城県民福祉基本計画
新県北地方広域市町村圏計画
常陸那珂地区開発
常磐自動車道の建設
県北臨海ニュータウン構想
北関東横断道の整備

などがあります。

これらの上位計画や昨年十一月号の市報で紹介した「市民意識調査」などを取り入れて、この新総合振興計画基本構想が策定されました。

計画の構成

この計画は、基本構想、基本計画、実施計画の三編をもって構成されています。なお、この三編は、相互に有機的な整合関係をもって機能するものです。

基本構想

昭和七十五年を目標年次とする十五年計画で、二十一世紀を展望した高萩市の将来像を示し、これを達成するために必要な施策の大綱を示したもので、基本計画・実施計画の基礎となるものです。

基本計画

基本計画は、基本構想に基づき、そこで示された施策の大綱を具体化し、行政の各分野にわたって推進することが必要な基本的施策を組織化、体系化したものです。

今回は、昭和六十一年度を初年度とし、昭和六十五年度を目標年度とする第一次計画を定めます。

実施計画

実施計画は、三年間を期間とし、ローリング方式により、毎年度更新策定を行うもので、当初の計画として昭和六十一年度から昭和六十三年度までの計画を策定するものです。

実施計画は、基本計画に示された施策事業を具現化するための計画であり、各施策事業の実施年次計画と財政の裏付けを定めるもので、各年度の予算編成の基本的な指針となるものです。

就業構造

↙二九、五四八人（国勢調査）にまで減少しましたが、その後、工業団地開発等により転入と転出が均衡する一方で、人口の自然増加が安定的に持続したため増加に転じ、昭和六十一年八月一日現在三四、二五三人まで回復しています。

将来人口は、常磐自動車道高萩インターチェンジの供用、小山ダム建設など、高萩市をめぐる各種大型プロジェクトが進行しており、積極的な産業振興策、住宅施策を行うことにより、人口増加に努め昭和七十五年には、五〇、〇〇〇人の人口の実現を目標に定めています。

将来就業者数（常住地ベース）は、工業開発を中心とした積極的な産業振興策や住宅施策の展開を図ることにより、昭和七十五年には、二六、五〇〇人が想定されています。

産業別就業者数（常住地ベース）

単位：人

年次		昭和55年	60	65	70	75
就業者総数		15,666	16,700	18,100	21,800	26,500
産業3区分別	第1次産業就業者数	1,811 (11.6)	1,580 (9.4)	1,390 (7.7)	1,240 (5.7)	1,120 (4.2)
	第2次産業就業者数	6,974 (44.5)	7,560 (45.3)	8,350 (46.1)	10,180 (46.7)	12,560 (47.4)
	第3次産業就業者数	6,881 (43.9)	7,560 (45.3)	8,360 (46.2)	10,380 (47.6)	12,820 (48.4)

（注）（ ）内は構成比であり，単位は(%)です。

まちづくりの基本方向

―二十一世紀に向け 高萩市がめざすべき課題―

これからのまちづくりの基本方向を
○恵まれた資源を生かした高萩らしさの創造
○高速交通時代・情報化時代に対応した産業機能・都市機能の向上
○調和のとれたうるおいのあるまちづくり
○生涯教育の追求と市民文化の創造
○地域経済の活性化
と定めました。

施策の大綱

土地利用と水資源の構想

都市的土地利用を促進する区域は、その範囲を明確にし、利用の高度化を図っていきます。今後、都市の発展と人口増加に伴って、必要となる各種都市施設の用地についても、先行的に確保しながら各用途の調和に配慮し、将来のまちづくりの目標に合致させた合理的、計画的な土地利用を進めていきます。自然的土地利用としては、農林業地域、自然公園地域等の保全を図り、市街地においても積極的な緑地空間の確保を図ります。

水資源については、そのかん養を図るため、森林の保全・整備を推進し、今後の水需要の増大に対応した新しい水源の確保を含めて、水資源の利用について長期的な観点から検討を進めていきます。

都市発展の基盤づくりの構想

道路・交通 通信基盤の充実

自動車交通需要が増大するなかにあって、道路の果たす役割はますます重要になるため、常磐自動車道等、高速交通体系の進展に対応した広域交通ネットワークの形成を図ります。そのため、高萩インターチェンジアクセス道路、国道六号バイパス、高萩西那須間の国道昇格や、県道及び広域農道の整備を積極的に促進していきます。

また、市街地内では、通過交通と生活交通の分離をめざすことを基本とし、幹線道路としての都市計画道路の整備を中心として生活街路の整備を進める一方、宅地化の進展に対応した先行的な道路網の整備を図ります。

交通機関は、鉄道・バスの利便性を高め、それらの有機的結合による合理的な交通システムの確立をめざします。

一方、通信基盤面でもニューメディアの開発の進展に対応した、新たな通信ネットワークの形成を図っていきます。

河川・海岸の整備

安全で快適な河川環境の創出をめざして、二級河川関根川・花貫川の改修整備を促進し、準用河川・普通河川についても、地域の実情に応じて整備を進めます。

また、白砂青松の美しい海岸は、高萩市の貴重な財産であり、その保全と活用のための離岸堤の建設を促進するほか、海岸侵食対策や観光・レクリエーション的活用を図っていきます。

上・下水道の整備

人口の増加や市民生活の向上等により、生活用水等の需要が増大することが予想されるため、上水道拡張事業を進め、限られた水資源の有効利用を図っていきます。

一方、下水道については、広域的連携のもとに公共下水道の整備を推進します。また、同時に都市化の進展に対応した都市下水路の整備を進めていきます。

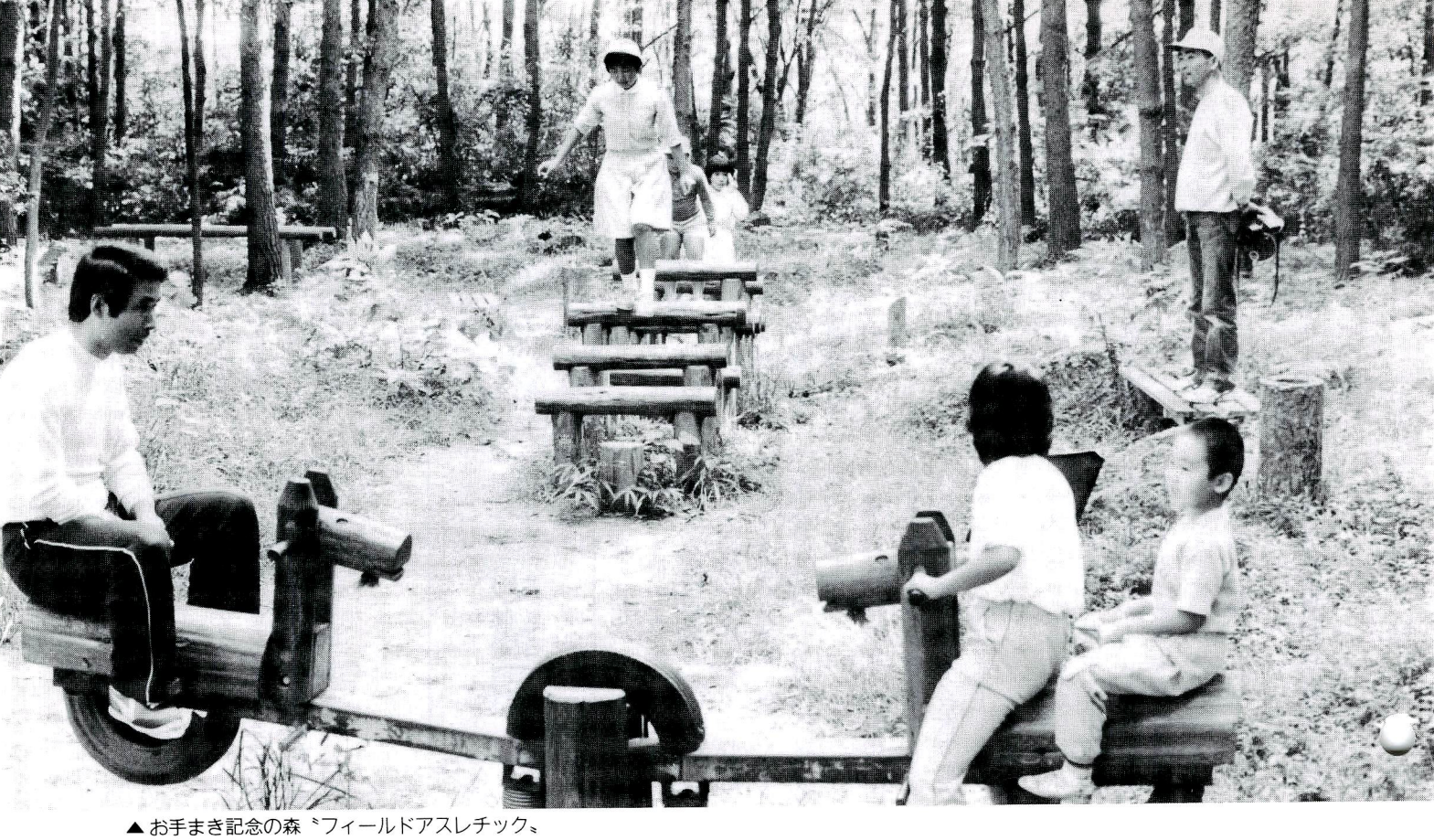
魅力ある市街地づくり

多くの市民の生活や生産等の場としての魅力ある市街地づくりをめざして、安全で住みよいまちづくり、高萩としての新しい顔づくり、自然景観を生かした美しいまちづくりの実現に努めていきます。

安全で住みよいまちづくりを進めるため、市街地周辺部の土地区画整理事業等の面整備の推進と、それによる公共施設の先行的な整備を図ります。また、都市機能の強化と居住・生産環境の適正配置のため、新たな市街地の形成についても検討していきます。

高萩としての新しい顔づくりは、歴史的なまちなみの保全・市街地再開発の検討を含め、商業地と公共施設・公園等の一体的な環境整備を図ることによりその実現に努めます。

自然景観を生かした美しいまちづくりについては、海岸部・市街地周辺部の景勝地・景観地の保全に努めていきます。



▲お手まき記念の森〝フィールドアスレチック〟

人間優先の生活環境づくりの構想

山間地域の振興

地形的制約のため、その発展が遅れている山間地域については、人口の流出を防ぐため、農林業を主体とした積極的な産業振興策を進め、それぞれの地域特性に合った新たな雇用の場の創設に努めます。

農林業は、基盤整備によって生産向上を図り、特産品の開発を推進するための条件整備を進めていきます。また、恵まれた森林資源を活用するため、自然公園の整備を進め、都市に住む人々の利用に供しながら、畜産の観光・レクリエーション面での活用など、豊富な資源を利用した地域振興を図っていきます。一方、生活環境面では、市街地及び周辺市町村と結ぶ道路交通ネットワークの整備・バス路線の充実をはじめ、快適な生活環境確保のための諸施策を推進します。

緑あふれる居住空間の形成

定住の場としての魅力を高め、人口の増加と定着を導くため、恵まれた自然を生かし、緑あふれる住みよい居住空間の形成をめざします。

住宅については、民間資本の積極的な活用や土地区画整理事業を推進し、市民のニーズに即した住宅地の供給に努めるとともに、公営住宅の中層住宅化等を進め、戸数の増加と質の向上を図っていきます。

公園・緑地については、計画的な都市公園の整備を図り、都市緑化を公共の手で進めるだけでなく、市民の緑化意識と行動によって緑を増やしていくことに努めます。また、お手まき記念の森周辺を総合公園として整備する一方、地域の特性に合わせて各種公園の整備を図っていきます。

衛生的な環境づくり

衛生的な生活環境づくりのため、年々増加する廃棄物の量に対応して、ごみ・し尿の収集、処理体制の充実を図り、家庭から排出されるごみは衛生処理を推進する一方、資源のリサイクル等に対する市民の意識を高め、ごみの減量化を進めていきます。し尿処理施設は、公共下水道の整備状況を踏まえて整備を進めます。また、快適な環境づくりを図るため、まちの美化運動の推進に市民と行政が一体となって取り組んでいきます。

火葬場・墓地については、市民の要望に応え、都市景観と調和した施設として整備を図ります。

市民生活の安全確保

市民生活の安全を確保していくため、災害に強いまちづくりを進め、公害の防止や市民を交通災害から守るための諸施策を推進します。

消防・防災については、災害に強いまちづくりをめざし、海岸、河川の防災対策事業を促進して、建築物の不燃化、耐震化の指導を図ります。また、災害時の体制を確立するため地域防災計画に基づいた避難地の確保、情報連絡体制の整備等を図っていきます。さらに、都市化の進展や常磐自動車道の整備に対応した消防活動の迅速化が図られるよう消防体制の適正化に努めていきます。

また、災害時の被害が最小限にとどめられるよう市民の防災意識の高揚を図ります。

公害防止については、発生源対策の強化と市民の公害防止意識の高揚を図る一方、公害が発生しないような土地利用の誘導に努めていきます。

交通安全については、市民の交通安全意識をより一層高め、交通安全施設の整備、通学路、緑道の整備等を進めます。

さらに、市民を犯罪から守るため、さまざまな手段による防犯意識の高揚に努めるほか、警察署等と連携した防犯体制の強化を図っていきます。

豊かな人づくりの構想

学校教育の充実

社会の変化に対応して、豊かな人間性と創造力を備えた児童、生徒を育てるために、教育環境を整備し、教育内容の充実に努めていきます。

人格形成の基礎をかたちづくる幼児教育については、幼稚園で園児をのびのびと育てる指導に努め、保育所や小学校、家庭などとの連携の中で、地域全体の幼児教育環境の充実を図ります。

小・中学校については、校舎及びプールなどの建設がほぼ完了する中で、さらに教育機器や施設の整備充実を図っていきます。また、社会構造の変化の中で懸念される児童、生徒の主体性の喪失等から派生する問題行動等に的確に対処し、人間愛や自然を愛する心を大切にする豊かな情操や思いやりの心を養うため、心情面の指導に努めていきます。

さらに、技術革新や情報化、国際化などが進展する中で、これらの社会変化に対応する教育方法の改善と教員の資質の向上を図ります。

学区については、地域開発との関連において、児童、生徒数の動向を見極めながら、学校規模の適正化のための見直し、再編成を図っていきます。

高等教育機能については、二十一世紀を担う人づくりをめざして、大学等各種研究機関の誘致を進めていきます。

生涯にわたる学習とからだづくり

児童、生徒と同様に成人もまた急激な社会変化の中で充実した家庭生活や地域生活を営み、自己実現を図るためには、生涯を通じて学び、スポーツ、レクリエーション活動に参加することが重要となっています。そのため、青少年から高齢者にいたるまでの各段階に応じた学習機会の提供と、活動の援助を進めていきます。

社会教育については、その拠点である公民館や図書館の充実を図り、自主的活動の奨励、援助、地域ぐるみの活動等、主体的な学習活動を促進していきます。

青少年については、健全育成のための環境づくりを進めると同時に、地域ぐるみの健全育成体制の確立や、専門的な相談体制の充実を図っていきます。

健康管理や地域の連帯づくりと切り離すことができないスポーツ、レクリエーション活動については、市民の要望に応えるための施設の整備を進め、指導者の養成、スポーツ団体、サークルの育成を推進します。

個性ある市民文化の創造

人々が心の豊かさを求め、地域社会の中で生きがいのある生活を営んでいくためには、文化活動を通じて創造する能力や情操を高め、お互いの心のふれあいを通じた個性と魅力ある市民文化を形成していく必要があります。

そのため、芸術文化活動の場としての文化会館等の施設の整備や文化事業の活発化を図る一方、コミュニティ形成の促進や市民の活動への適切な援助等を通じて、文化創造に対する市民の主体的な取り組みを促していきます。

また、郷土の歴史を伝える各種の文化財の保存・継承及び活用を図ることにより、文化思想を高め郷土を愛する心を育てていきます。

健康でやすらかな地域づくりの構想

心あたたかな福祉の確立

人口構造の高齢化や核家族化の進行などの社会変化の中で、増大し多様化する福祉需要に対応するため、行政と地域社会、民間施設等の機能分担と連携に基づく総合的、効率的な福祉の推進に努めます。

福祉サービスについては、児童、老人、母子、父子家庭、障害者、低所得者などの対象者が地域社会の一員として、自立した生活を営むことができるよう、物的な援助だけでなく総合的な福祉環境づくりをめざしたものとします。そのため、福祉思想の啓発を行い、ボランティア活動などを通じた市民の福祉活動への参加を促進していきます。また、お年寄りや体の不自由な人が住み慣れた地域の中で充実した介護を受けることができるよう、各種施設の整備を民間の力も活用しながら促進し、これらの施設機能の在宅福祉サービスへの活用を推進します。

保健・医療体制の充実

生涯を通じた健康管理体制の確立のため、検診、予防接種等の各

種の保健活動の拠点となる施設の整備を図り、検診の総合化や情報管理システムの整備などによる検診体制の充実に努めます。

医療体制については、市民が必要なときに必要な医療を受けることのできるよう、関係機関の協力を得ながら不足している診療科目の確保や夜間、休日の救急医療体制の整備、温泉を利用した医療施設の整備等を促進していきます。

コミュニティの形成

美しく住みよい居住環境の創造

活力ある市民生活をつくり出す 産業づくりの構想

と人間性豊かな安全で、やすらぎのある市民生活の実現を目標に新しいコミュニティづくりの推進を図ります。

そのため、社会教育やスポーツ、レクリエーション活動等による市民相互のふれあいを通じて、連帯精神に満ちたコミュニティの形成を図っていきます。また、活動の核となる各種施設の整備を進め、地域にふさわしいコミュニティ施設の管理、運営に努めます。

農林業の振興

農林業は、食糧供給、環境保全、緑地確保等、地域社会の中で重要な機能を果たしています。

農業については、さらに土地基盤整備を推進し、農地の流動化を図ることによって、生産性の高い土地利用型農業を形成し、常磐自動車道の開通による広域流通の変化に応じた、市場対応力のある野菜園芸や畜産をめざしていきます。このため、中核的農家を中心に、兼業農家を含めた地域農業づくりを推進し、魅力ある農村社会を形成して後継者の確保に努めていきます。

林業については、豊かな森林資源を長期的に育成していくため、林道などの林業基盤の整備や、間伐を推進し、特用林産物の振興に努めるなど、森林の多面的利用を図っていきます。

また、山間地域の振興のために常磐自動車道開通後の観光客の広域流動の変化に対応して、農林業における都市住民むけのさまざまな試みを促進して、その定着に努めます。

工業発展の促進

工業は、市経済発展を主導するものであり、常磐自動車道開通後、県北地域でますます増大すると見込まれる需要に応える形で、工業用地の確保を図り、積極的に優良企業を誘致するとともに、工業用水等の工業環境の整備を推進します。また、工業発展を市経済全体の発展につなげていくため、地元企業の技術開発力の向上、関連下請企業の育成、住宅地の整備などを推進し、地域全体としての工業力の向上と従業者の地域への定着をめざします。

商業・サービス業と観光の振興

暮らしやすい都市生活を確保するためには、商業・サービス機能の充実は不可決です。このため、商業経営の近代化や大型店の誘致などを通じて、安心で快適なショッピングができる中心商店街の整備を図り、各地域の住民に身近なサービスを行っている近隣商店街を、それぞれの機能に応じて振興し、高萩商圏の維持拡大に努めていきます。

また、常磐自動車道の供用による交通条件の変化に対応した流通機能の整備を図ります。

観光については、山や海といった豊富な自然資源を有効利用することを基本とし、今後はますます増加すると考えられるスポーツ、レクリエーション等の余暇需要に応えるような観光開発を民間活力を活用しながら推進していきます。

山間地域では、森林、水等の豊富な自然資源や畜産資源を活用しながら、特産品を開発し、今後増大すると見込まれている都市住民の広域的な観光流動を取り込んで、山間地域振興に役立てていきます。また、海岸の活用については、景観の保全に努めながら、それぞれの地域特性を生かした観光の拠点としての整備を推進していきます。

まちづくりを支える 行財政の構想

まちづくりの推進は、市民と行政の密接な協力関係があってはじめて可能となるもので、市民本位の行政を進めるためにも、行政への住民参加が不可欠です。そこで、広聴機能の充実により市民意識を常に的確に把握し、その上に立って、行政の役割、市民や民間の役割を明確にし、相互の連携と協力のもとにまちづくりを進めます。また、そのために必要な情報を、広報機能の充実や新しい情報システムの活用等によって、積極的に市民に提供していきます。

一方、ますます複雑多様化する行政需要に対応し、より効率的な行政運営と市民サービスの向上を図るために、行政組織の適正化、事務の改善、機械化、職員研修の充実、適切な職員配置と定数管理等を進め、計画行政の強化に努めます。また、市民の生活圏域の拡大や産業活動の広域化に対応しながら効率的な行政サービスを進めるために、周辺市町村との連携を強化し、それぞれの機能を明確にした上で、高萩市が担うべき役割を積極的に果たしていきます。

財政運営については、地方財政の自主性確立と、健全財政の維持をめざして、行政諸経費の合理化や産業振興等による財源確保を図り、限られた財源のもとに効率的な財政運営を果たすため、長期的な展望に立った計画的な施策、事業の選択に努めます。

市民が考える
高齢化社会

市の人口は、八月一日現在で、三四、二五三人になりましたが、このうち六十五歳以上のお年寄りは、三、八二二人（四月一日現在）です。市民の約九人に一人がお年寄りということになります。

そこで、市民のみなさんが老後の生活や高齢化社会について、どう考えているか聞いてみました。

仲間づくりの輪を広げよう

高萩市老人クラブ連合会会長
小山　政男さん

現在、高齢化社会からさらに長寿社会へと移行しようとしています。高萩市の老人クラブも二十九クラブ、会員数一、三五六人を数えています。年々、お年寄りが増えているのに会員数が増えないという大きな悩みがあります。原因はいろいろあると思いますが……。

新しく加入されるかたは、老人クラブという名称に抵抗があるようですが、社会奉仕や親睦など活発に活動するためには、まず会員を増やし、みんなでなかよくその輪を広げていくことが大切です。

現在、老人クラブの新聞を会員のみなさんに配布していますが、仲間づくりを考えると全戸配布なども必要になってくるかもしれませんね。また、生きがいの問題として、働けるうちは、ミニ・シルバー人材センターなどの充実を望むとともに活用していくことが必要だと思います。

家族は和やかに楽しく

高齢者大学四年生
浅田　はるさん

月一回の高齢者大学の講座と、月二回の軽スポーツクラブに参加しています。人にすすめられて入ったのですが、とても楽しいですね。みんな若返って、一緒にあめをなめながら、和気あいあいと運動や世間話、雑談などをしています。卒業したくないくらいです。

高齢者大学で、人とのふれあい、友だちづきあいができるということはすばらしいことです。楽しい笑いは、気分的な若返りにも最高ですし、ストレスも発散できます。家の中だけにいてはだめですね。

私は、みなさんに高齢者大学に入るようすすめています。

楽しい高齢者大学のある前日には、服装や靴などをちゃんと準備します。

家では、家族が和やかに楽しく過ごしていますが、なんといってもこれが一番大切なことではないでしょうか。

規則正しい生活が気持ちのはりに

民生委員
久保田武志さん

お年寄りの利用できる制度

市では、お年寄りのみなさんが、少しでも安心して老後を暮らしていただけるよう、利用できる制度を設けています。

家庭奉仕員の派遣

おおむね六十五歳以上のねたきりのお年寄りが、家庭で介護を受けられない場合や、一人暮らしのお年寄りで体の弱い人に、家庭奉仕員が訪問し、身の回りのお世話をします。

「愛の定期便」

満七十歳以上の一人暮らしのお年寄りを、協力員が乳製品を持参して訪問、安否の確認や健康の状態、孤独感の解消をはかっています。

老人居室整備資金

六十歳以上のお年寄りと同居している家族の人が、お年寄り専用の部屋を増・改築する場合、必要な経費の一部をお貸しする制度です。貸付限度額一四六万円

ミニ・シルバー人材センター

お年寄りの能力を活用して働きたいと希望する人が会員になり、庭木の手入れ、清掃、草刈、雑役などの作業を行っています。会員になれる人は、ほぼ六十歳以上の、健康で働く意欲を持っている人です。

早いもので、私が民生委員になって十五年が過ぎました。民生委員として地区の敬老会に出席したり、一人暮らしやねたきりのお年寄りの家庭を訪問したりしています。とくに、一人暮らしのお年寄りは、万一何かあった時のことが心配です。最近は、痴呆性（ボケ）のお年寄りが増加する傾向にあるようです。ねたきりのお年寄りをかかえている家族の介護は大変ですよ。施設や病院という処置もありますが、地域の援助が大切だと思います。

年金制度や医療制度の充実により、独立できる老人が増えていることも核家族化を進めているのかもしれませんね。全体として親子の絆がうすれているようです。

私は、今も働いていますが、毎日の規則正しい生活が、気持ちのはりをもたせてくれています。

病人と介護者に愛情と理解を

主婦　永山　節子さん

私は、ねたきりになった義父を約五年間介護しました。義父が倒れてからは、長年続けた仕事をやめて、介護ひと筋に、食事のくふう、着るもののくふうと毎日が無我夢中でしたね。

介護は、ささやかで地味なことの繰り返しです。病人に対する愛情はもちろんのことですが、介護者に対して、精神的に力づけてくれる〝協力者〟のいることが、大切だと思います。私の場合、主人が買い物に行ってくれたり、愚痴を聞いてくれたりしたことは私のイライラをなくし、うまく介護ができた秘けつと思っています。

また、隣のおばあちゃんが、食欲のおちた義父に大好物の〝おこわ〟を作ってくれたこと――とてもありがたかったですね。

介護者は、精神的・肉体的な疲れから孤独感に陥りやすいものです。それを支えるのは、家族の愛情と理解であり、ご近所の温かい協力ではないでしょうか。

ねたきりのお年寄りの介護者研習会

8月26日(火)　市民センターで，ねたきりのお年寄りの介護者研習会が，約50人の参加者で開かれました。保健婦による介護や実技の研修のほか，話し合い，体験談の発表，寸劇など，参加したみなさんは真剣ななかにも楽しい研修となりました。

楽しい三世代の集い

9月15日（敬老の日）市民体育館で

第21回　高萩市老人福祉大会
　主催　高萩市老人クラブ連合会

第8回　老人を囲む三世代の集い
　芸能発表会
　主催　高萩市・高萩市老人クラブ連合会

が行われます。（午前9時30分開会）

地域の助け合いが大切

ボランティア　塩田三恵子さん

私は、去年の三月に東京の世田谷から高萩に転入してきました。

何か私にできることはないかしら……と思っていた矢先に、市報でボランティアの記事をみつけ、さっそく今年の四月から、高萩食事サービスグループに入れさせていただきました。

七十五歳以上の一人暮らしのお年寄りに、毎月一回手づくりの食事をお届けしています。

都会では、ともするとお年寄りが孤立し、とり残されてしまいがちなのですが、高萩に来て感じたことは、近所どおしのおつきあいの中でお互いに助けあい、地域の中で何かとめんどうをみているということです。

主婦である私も、今はボランティアや公民館の講座などに参加させていただいていますが、自由な時間を生かして、充実した日々を過ごしたいと思っています。

老人クラブ

老人クラブは、おおむね六十歳以上の人が、老後の生活を有意義に過ごすためにレクリエーション、軽スポーツ（クロッケー、ゲートボール等）、教養の向上、社会参加など幅広く活動している、地域ぐるみのグループです。

高齢者大学

お年寄りの生きがい教育として、毎年、中央公民館で行われています。この大学は、六十歳以上のお年寄りが対象で、健康と教養、趣味などの学習をしています。

敬老祝品と祝金の支給

毎年九月に、市内に住んでいる七十歳以上のお年寄りに、敬老と長寿を祝って祝品を贈っています。また、八十八歳以上のお年寄りには米寿の記念品を贈っています。

さらに、八十歳以上のお年寄りには祝金を支給しています。

ねたきりのお年寄り介護者慰労金

家庭で、ねたきりのお年寄りを介護している人の肉体的、精神的労苦に対して、慰労金を年一回支給しています。対象となる人は、三か月以上ねたきりの状態にある六十五歳以上のお年寄りを介護している家族です。

※このほか、お年寄りの健康診査、保健婦の家庭訪問指導、医療福祉制度などがあります。

台風十号による大雨の被害状況まとまる

八月四日(月)から五日(火)未明に、高萩市内に大雨をもたらした台風十号の被害状況などがまとまりましたので、おしらせします。また、八月三十日(土)から九月五日(金)までは防災週間です。とくに、これから台風シーズンをむかえ、万一の災害等に備えて、準備を怠らないように気を付けましょう。

今回の台風十号による降雨量は、別表一、二のとおり累計の数字で、大能地区で四百四ミリ、花貫ダムで四百四十一ミリ、また、消防署でも二百七十六ミリと記録的な大雨になりました。とくに、花貫ダム周辺では、最大一時間で六十六ミリを示しています。

市内の昭和六十年の月別総雨量は、別表三のとおり、つゆ時の六月に三百五十六・五ミリと最大量を記録していますが、今回の降雨量は一日でこれを上回っています。また、昭和六十年一年間の総雨量千五百六十五ミリの約四分の一を越える量となっています。いかに、今回の降雨量がすごいものであったかを物語っています。

被害状況についても、床上浸水二十五棟、床下浸水六十棟など、今までにない大きな被害となりました。

▲冠水した県道高萩友部線

台風10号による被害状況

(8月12日現在)

住宅被害
- 床上浸水　25棟（25世帯，75人）
- 床下浸水　60棟（60世帯，233人）

非住宅
- 公共建物　2棟
- その他　7棟

田
- 流失・埋没　0.3ha
- 冠水　55 ha

畑
- 流失・埋没　51㎡
- 冠水　48㎡

道路　48か所
橋りょう　18か所
河川　44か所
水道
（簡易 122戸）
用水路　11か所
土砂くずれ，落石　8か所

被害額
- 公共文教施設　1千50万円
- 農林水産業施設　8千854万円
- 公共土木施設　1億6,152万4千円

〈税金相談〉

災害にあったかたは、税金面でいろいろな救済措置を受けることができる場合もありますので、なるべく早目にご相談ください。

○国税について　日立税務署
☎〇二九四―二一―六三四六

○県税について　高萩県税事務所
☎二二―二〇一九

○市税について　市役所税務課
☎二三―二一一一内線二〇一

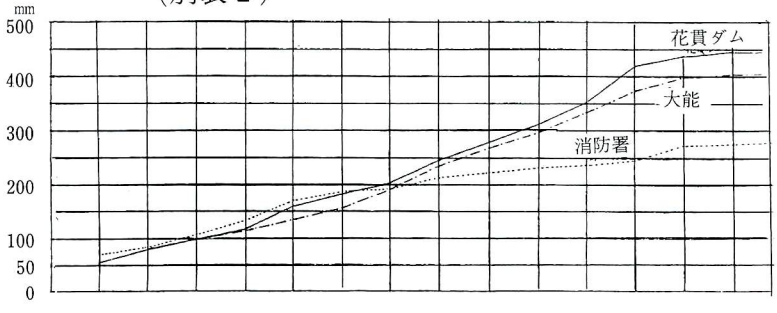
▲破損した県道高萩大子線

降雨量の推移　（別表１）

単位：mm

時間 / 場所	8/4 5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	8/5 1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00
大能		80	17 / 97	17 / 114	20 / 134	21 / 155	35 / 190	43 / 233	34 / 267	28 / 295	36 / 331	40 / 371	27 / 398	6 / 404	0 / 404
花貫ダム	56	23 / 79	18 / 97	20 / 117	42 / 159	22 / 181	20 / 201	43 / 244	34 / 278	30 / 308	42 / 350	66 / 416	18 / 434	7 / 441	0 / 441
消防署	70	14 / 84	21 / 105	27 / 132	37.5 / 169.5	17.5 / 187	3.5 / 190.5	21 / 211.5	9.5 / 221	9 / 230	8.5 / 238.5	5.0 / 243.5	27 / 270.5	4.5 / 275	1 / 276

（別表２）



昭和60年月別総雨量調べ　（別表３）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
5.5	219.5	139.5	194.5	75	356.5	108	82.5	155	102.5	97	29.5	1,565

過去５年間１日最大雨量調べ

昭和56年10月22日	188.0 mm
昭和57年４月15日	117.0 mm
昭和58年９月28日	93.5 mm
昭和59年５月31日	59.0 mm
昭和60年２月 9日	123.5 mm

市議会だより

（八月臨時会）

昭和六十一年第二回高萩市議会臨時会が八月一日(金)に開かれました。今回提出された案件は、条例に関するもの四件、予算に関するもの二件、その他一件で、それぞれ原案どおり決定されました。

主な内容は、次のとおりです。

（条例関係）

○高萩市国民健康保険税条例の一部改正について

○高萩市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

○高萩市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について

○高萩市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について

（予算関係）

○昭和六十一年度高萩市一般会計補正予算（第二号）

○昭和六十一年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算（第一号）

（その他）

○農産物の市場開放をやめ、米作を守り、安全で安定した食糧の確保を求める意見書（案）の提出について

議会事務局

市民憲章推進協議会 ③

～ 第３専門部会 ～

第三専門部会は、〝礼儀を正しくし、うるおいのあるまちづくり〟を合い言葉に

○あいさつ運動の推進

○郷土を理解する運動

○文化活動をさかんにする運動

などに取り組んでいます。

▶秋山小学校前のあいさつ道路

あいさつ運動については、礼儀を正しく、うるおいのあるまちづくり運動を進めるため、秋山地区、松岡地区の学校、ＰＴＡ、支部社協、老人クラブなどが協力し、朝の立哨指導のなかで、広く運動を展開しています。

郷土を理解する運動については、親子や一般を対象に、市内の施設や史跡などの見学会を実施しています。

文化活動をさかんにする運動については、文化協会を中心に文化祭や音楽祭などに積極的に参加し、その高揚を図っています。

◀ハンガリー・フェスティバル・イン・高萩

第３専門部会員名簿

礼儀を正しくし，うるおいのあるまちづくり運動

（敬称略）

所属機関団体名	氏名
市教育長	鈴木一慧
高萩市文化協会長	笠谷喜之助
高萩ライオンズクラブ会長	小田木貞夫
松丘高等学校長	関根岩雄
公民館運営審議会長	根本昇
高萩駅長	蛭田泰令
高萩市農業協同組合長	細金秀隆
高萩市文化財保護審議会長	伊藤竜馬
〃　委員	黒沢光寿
高萩市民合唱団代表	若松健一
松久保・手綱工業団地経営協会長	安達守
社会福祉協議会山手地区南支部長	関根治
〃　高戸支部長	大高喜隆
農協婦人部長	長久保正子
日立電鉄高萩営業所長	岡見孝雄
秋山婦人会長	関根美代子
高萩小学校長	橋本尚
秋山小学校長	帯金真雄
高萩小学校ＰＴＡ会長	鈴木昭彦
秋山小学校ＰＴＡ会長	飯田幹男

市報８月号の第２専門部会員名簿中，高萩工業高校ＰＴＡ会長の名前が誤っていましたので，お詫びして訂正します。

（敬称略）

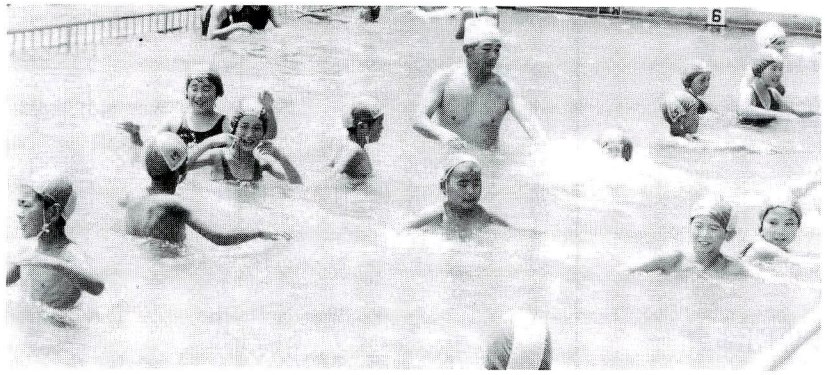
高萩工業高校ＰＴＡ会長　藤田　誠

自動車に乗ったらシートベルト

●シートベルトとヘルメット
どちらも命を守る大切なもの――
忘れずに，正しく着用しましょう。

バイクを運転するときはヘルメット

９月21日～９月30日　秋の全国交通安全運動



市民のひろばのコーナーは，みなさんの身近に起こった話題や行事，声を紹介します。何かありましたら係までお寄せください。
☆あて先…市民活動課広報広聴係（☎23-2111，内線262）

創立二十周年記念 茨城県レクリエーション大会で受賞！

七月二十日(日)、笠松運動公園で、創立二十周年記念茨城県レクリエーション大会が開かれ、高萩市からは、優良団体として、

○高萩市レクリエーション指導者協議会（代表　鈴木千勝さん）

功労者表彰として

○鳴田　勉さん

が、それぞれ受賞されました。

▲表彰されたみなさん

君田小・中学校にプールが完成

七月三十一日(木)、君田小・中学校の共同プールが完成、関係者約百五十人が参加して、竣工式と初泳ぎが行われました。

このプールは、長さ二十五m、幅十五mで、プールの完成を楽しみに待っていた児童、生徒たちは大喜び……。

これにより、市内の小・中学校の永久校舎、プール等の整備計画は一通り終了したことになります。

佐川和人くん
（3年、君田中生徒会長）

「みんなプールが出来るのを楽しみにしていました。すぐにでも飛び込みたい。これまで“水”はただの水にしか見えませんでしたが，このプールが出来たことにより水も楽しいものになるでしょう。

ぼくも，ぜんぜん泳げないし，友だちも息つぎをして泳げる人は，約2割ぐらいかな。これから練習して，はやく泳げるようになりたい。はじめて泳いだ気分は最高です。」

日独スポーツ少年団交流に佐々くん（安良川）が参加

第十三回日独スポーツ少年団交流が、今年も七月十八日(金)から八月十日(日)までの二十四日間の日程で行われました。

全国から百六十人、県内から六人が派遣された、この西ドイツとのスポーツ交流に高萩市から佐々毅(たけし)くん（安良川、日立北高二年＝柔道）が参加しました。

↖成田空港からモスクワ経由で、西ドイツのフランクフルトへ――。ここでは、全員がホイゼンシュタインの郵政省センターで、二泊三日の統一行動、その後二十人ずつの班に分かれ、佐々くんは、車で四十分の一番近くのヘッセン州ベンスハイムの町へ向かいました。そこで、十八日間のホームスティを体験し、昼はスポーツ交流と、忙しい日々を送ってきました。

「時差ボケは、あまりなく病気やホームシックにもかかりませんでした。食事は肉類が多かったけど大丈夫でした。ことばも、ホームスティをした家の主人が英語の先生だったので、わかりやすく話してくれて、たいへん助かりました。

うれしかったことは、二年前の交流で西ドイツから私の家に一週間滞在した指導者のロルフさんが、わざわざ私を訪ねてくれたことで、なつかしい人に会えた喜びでいっぱいになりました。

今回の交流テーマは、〝スポーツと環境〟ということでしたが、スポーツ施設などは非常によく整備されていました。

「今回の交流を契機に現在スポーツ少年団のリーダー（柔道）ですが、指導者をめざしたいと思います。スポーツ少年団の活動は、小学校だけでなく、中学、高校や社会人になっても続けることが、大切なことだと思います。」と佐々くんは話してくれました。

▲ベンスハイムにて（佐々くん：左）

お料理って楽しいね

母と子の料理教室

夏休み中に、お母さんと子どもがいっしょになって料理の実習を行う、「母と子の料理教室」が市内の各地で開かれました。

子どもたちは小学生が中心で、お母さんに手ほどきをうけると、思い思いに包丁を持って、たまねぎのみじん切りやワンタン包みなどに挑戦、目にしみて、涙をおさえながら悪戦苦闘の末、おいしいカレーとワンタンスープのできあがり、夏休みの楽しい思い出になりました。

▲お母さんと楽しく（石滝公民館）

第10回
茨城県少年すもう大会で優勝

棚橋基紀くん（駒木原）

〈写真：前列中央〉

▲がんばったよ

七月二十七日(日)、第十回茨城県少年すもう選手権大会が那珂湊市で行われ、参加団体十市町村、団体十八チーム、個人百五十人が参加しました。高萩チームは、熱戦の結果、団体・個人の部ともそれぞれ優秀な成績を納めました。

成績（敬称略）

▽団体の部　第三位

▽個人の部

六年生…棚橋　基紀（優勝）
林　栄伸（第三位）
四年生…三村　竜二（第三位）
三年生…山形　和弘（準優勝）
胡麻田一己（第三位）

私のアイデア料理

＊ハイカラすいとん＊

食生活改善推進員
飯田勝子さん
（秋　山）

（材　料　4人分）

◉おだんご分
- 上新粉……170g
- 塩……1.7g
- スキムミルク……40g

◉クリームスープ分
- 小麦粉……80g
- スキムミルク……60g
- 玉ねぎ……150g
- コンソメ……10g
- コショウ・パセリ…少々
- マーガリン……60g
- にんじん……50g
- いんげん……10g
- 塩……2g

（作り方）

◉おだんご

上新粉，スキムミルク，塩をまぜて，熱湯で耳たぶぐらいのかたさにこね，好みの形につくりゆであげておく。

◉クリームスープ

①玉ねぎはくし形，にんじんはさいの目に切り，いためて塩・コショウをする。

②いんげんは小口切りにし，色よくゆでる。

③コンソメは 360cc.のぬるま湯でといておく。スキムミルクを 600cc.のぬるま湯でとく。厚手の鍋にマーガリンをとかし，小麦粉をこがさないようにいため，といたスキムミルクを少しづつ入れ，だまにならないようにのばす。

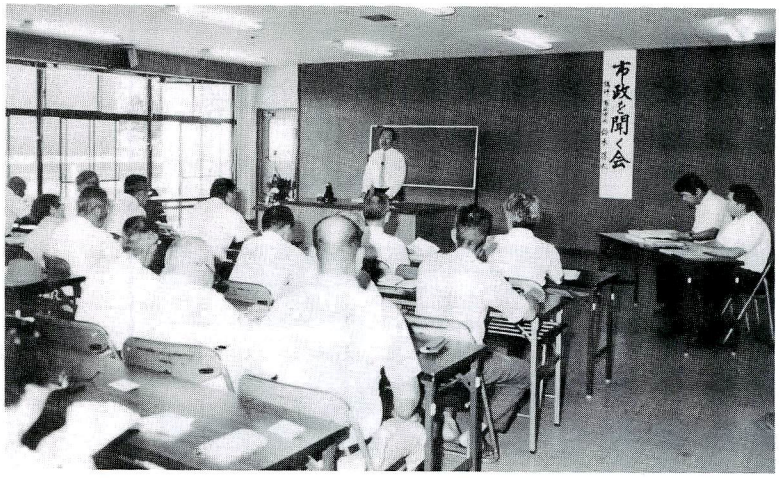
④①と③を加え，次におだんごを加えて1～2分煮込む。塩・コショウで味を整え，最後にいんげんをまぜて火を止める。盛りつけてから，パセリのみじん切りを中心にかざる。

「困ったな，少しごはんが足りないかな…　そんなある夕方，ふっと頭の中をよぎったのは，昔，さんざん食べさせられた“すいとん”でした。貧しいイメージからの脱皮をしてみようと，私なりに知恵をしぼった結果が，スキムミルクとマーガリンをたっぷり使った“ハイカラすいとん”，わが家の子どもたちにも大好評です。」

フォトグラフ

高齢者大学の「市政を聞く会」

七月三十日(水)、中央公民館で、高齢者大学「市政を聞く会」が開かれ、講師に鈴木市長をむかえ、昭和六十一年度の市の予算や新総合計画基本構想など、これからの高萩市についての勉強をしました。参加者は、約百五十人で、みなさん熱心に話を聞いていました。



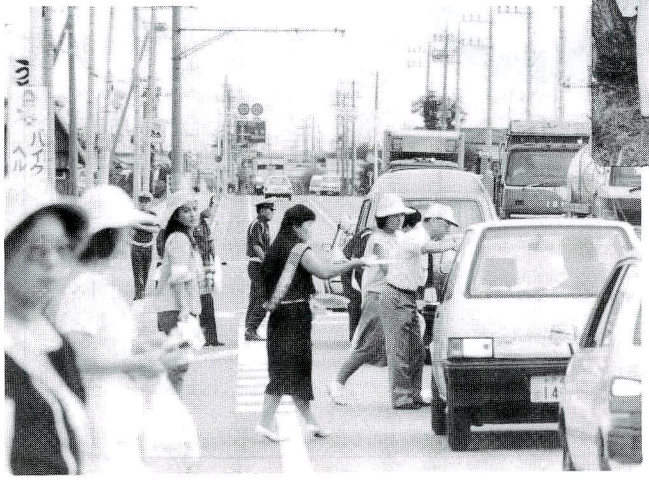
太公望が腕を競う

八月二日(土)、高萩海岸で、第十九回市民いしもち釣大会が開かれ、たくさんの太公望が腕を競いました。折からの猛暑の中、海岸は涼を求める人たちでにぎわっていました。

交通安全を呼びかける“テント村作戦”

8月6日(水)から9日(土)までの4日間，高萩警察署前の6号国道で，ドライバーに交通安全とシートベルトの着用を呼びかける“テント村作戦”が行われました。

民間交通指導隊や交通安全母の会のみなさんが，ウチワやティッシュペーパー，チラシなどを配布し，“気を付けて”と一声運動を展開

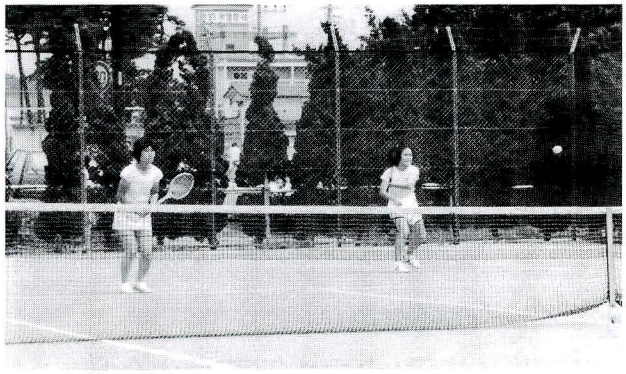


たのしいサマージャンボリー

8月2日(土)，3日(日)の両日，東小学校で，子ども会育成連合会主催の第21回サマージャンボリーが，約250人の参加者で開かれました。このサマージャンボリーは，毎年夏休みを利用して市内の子ども会のリーダー育成のために行われているものです。

市民テニス大会
（ダブルス）

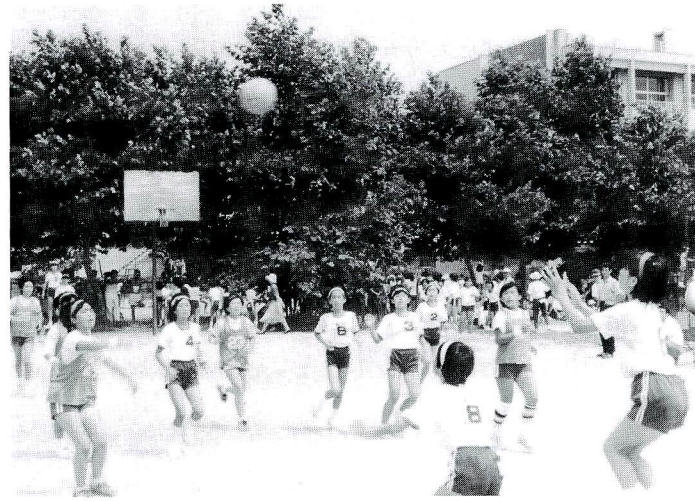
八月十日(日)、高浜運動広場で、第七回市民テニス大会が開かれました。**成績**（敬称略）〔男子〕優勝…戸張・熊倉組、準優勝…高橋・大内組、第三位…大内・内田組、阿部・太田組〔女子〕優勝…坂井・井上組、準優勝…松尾・岩出組、第三位…小山・柴田組、武田・大内組〔壮年男子〕優勝…大沼・根本組、準優勝…青木・落合組



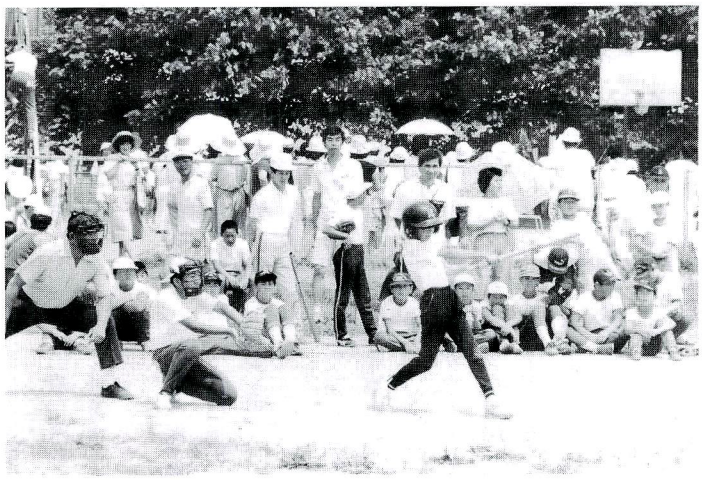
◀みごとなリターンが決まりました

地区対抗球技大会

８月10日(日)，ＰＴＡ連絡協議会，子ども会育成連合会主催の地区対抗球技会が，高萩中学校で行われ，男・女合わせて約50チームが，ソフトボール，ポートボールにそれぞれ熱戦を繰り広げました。



▲それ～，シュート！
女子ポートボールの熱戦



◀ナイスバッティング
決まっているでしょう このフォーム

美しい森を23世紀まで残そう

下君田柳沢の国有林には、七十年から八十年生の美しい森があります。

高萩営林署では、この「美しい森を二十三世紀まで残そう」と手づくりの記念碑を建設しました。

この森は、七年前に地元の「苦労して育てた人工林を残して欲しい。」という要望にこたえて、国有林十六*ha*を「愛林記念の森」として設定したものです。これにより、禁伐林として半永久的に保存されることになります。

▲市役所を訪れ鈴木市長に優勝を報告

島名上萩ヶ丘スポーツ少年団が初優勝

８月23日(土)，24日(日)の両日，水戸県営球場で県内各地から96チームが参加して，第６回ちびっ子少年野球大会が行われました。この大会に高萩市から参加した島名上萩ヶ丘野球スポーツ少年団が，初出場ながら次々と強豪を打ち破り，みごと初優勝を飾りました。

工業団地を訪ねて

～企業紹介～

⑧

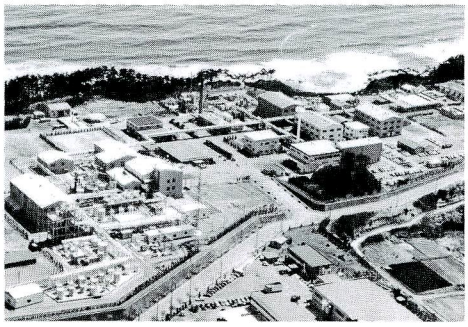
山之内製薬株式会社

工場長
安達　守さん

市内に在住で，東京から赴任して一年，奥さんと一男二女の五人家族です。

趣味は，ゴルフと読書，それにアルコールを友として，社員と未来工場を語り始めると時間も忘れるほどとか……。

「緑の山なみ，世界に通じる海原，このような環境のもとで，人と産業の調和を求め，仕事に汗する喜びは，最高ですね。」と話していました。



山之内製薬株式会社

住　　所　高萩市赤浜字松久保160―2
（松久保工業団地）
資本金　179億7,000万円
主な製品　医療用医薬品
（ヤマテタン・ガスター等）
敷地面積　136,000㎡
建物面積　19,000㎡
社員数　１２０名
操業開始　昭和49年11月

山之内製薬株式会社は、東京に本社があり、工場はこの高萩のほか、東京に二か所、静岡に一か所あります。

高萩が一番若い工場ですが、近い将来盛岡の近くやアイルランドにも工場が出来るそうです。

主な製品としては、マキロン・ハーブキャンデー・ミノン等の一般薬もありますが、医療用医薬品中心の会社で、全国に営業店があります。

高萩駅から約三km、松久保工業団地の中に一風変わった白色のUFOのような水槽が姿を現す、ここが高萩工場です。

この工場では、抗生物質を始め、抗潰瘍剤、心臓病薬等幅広いバルク（原薬）を製造しています。

輸出先国のアメリカやイギリスの厚生省からも〝優秀な工場〟と認められ、原材料の受け入れから製品の出荷まで、万全の品質保証体制のもとで製造されています。

また、コンピューター制御によるプラントの自動システムは、安全面、品質面等精度の高い内容で稼働しており、一部では無人運転を実現しています。

工場長の安達さんは、「現在、社員は一二〇名ですが〝Σ（和）〟をモットーに、〝真に社会から求められる医薬品づくり〟を全員共通の目標として、その達成過程で自己実現を図りたいと考えています。

また、高萩に進出して十二年目、地域社会との結びつきも、大事にしていきたいと思います。」と話していました。

高萩の昔話と民俗

桃太郎昔話

（8）

志田諄一

ところで『高萩の昔話と伝説』には、つぎのような「桃太郎」の話が収録されている。「どこかの川で、婆様が洗たくしにいって、赤い箱と白い箱をひろって家に帰った。開けてみると桃が入っていた」というのである。

この昔話は一見ユニークのように思われるが、実際は舌切り雀と浦島太郎の話が交じり合っているのである。「赤い箱」「白い箱」は雀からもらった「葛籠」（つづら）や浦島太郎が乙姫様からもらった「玉手箱」と混同しているのである。

『勝田の昔話と伝説』には、もっと面白い桃太郎の話がある。お婆さんが川で洗たくしていたら箱が流れてきた。開けたら桃が入っていたので、二つに割ると桃太郎が生まれた。桃太郎は鬼が島へ鬼征伐にいくのに、亀に乗って「もしもし亀よの亀さんに乗って」でかけた。すると「蜂」だの「犬」だのが加勢にきて手伝った。

この話には「桃太郎」「浦島太郎」「猿蟹合戦」や「花咲爺」などの昔話が渾然一体となっているのである。

◀ヨミカタ一（サクラ読本・文部省編・昭和八年）

ツケマシタ、
モモタラウハ、タンタ、
ン大キクナッテ、タイ
ソウ ツヨク ナリマシタ、
アル日、モモタラウハ、
オヂイサント オバアサ、
ンニ、
オニガシマヘ オニタイヂニ イキマス カラ
キビダンゴヲ コシラヘテ
クダサイ、
トイヒマシタ、フタリハ、
キビダンゴヲ
コシラヘテ
ヤリマシタ、
モモタラウハ、勇ン
マシク 出カケマシタ、

紅葉の日光への旅
東照宮・江戸村見学
～第16回高萩市民号～
参加者募集中！

とき　10月23日(木)
ところ　日光東照宮，日光江戸村
募集人員　４５０人
申込受付　市役所市民相談室（現金を添えて）
費用　大人……11,000円
　　小人……　8,500円（小学生以下）
　　（旅費，入場料，昼食，夕食，含みます。）
行程

高萩 6:30 ―― 宇都宮 10:10 ＝バス＝ 日光東照宮見学食事 12:00 14:30 ＝バス＝
高萩 21:30 ―― 宇都宮 18:30 ＝バス＝ 日光江戸村見学 16:50 15:20

※詳しくは，市民相談室へ☎23－2111 内線262

《視聴覚ライブラリーを利用しましょう》

高萩市・北茨城市及び十王町視聴覚ライブラリー協議会では，約600本の視聴覚資料の貸し出しをしています。子ども会，学校行事などにご利用ください。

16ミリフィルム　約200本　社会教育，子ども会など
8ミリフィルム　約400本　学校教材ほか

（昭和61年度分）　16ミリフィルム

題名	時分	対象	内容
咲ちゃんのおふろやさん（道徳 No.103）	43	児童	あなたのクラスにも，いじめっ子やいじめられっ子がいると思います。この作品の咲子と一緒に，こうした問題について考えてあげてください。●原作「お父さんのおんぶ」を映画化した作品です。
ゴンタとよばれた犬（道徳 No.104）	42	小学校中学校一般	“燃えさかる山火事”，逃げだすことでせいいっぱいの清之一家が気がついたとき，愛犬ペスは行方不明に……
幽霊屋敷（道徳 No.105）	20	保育園幼稚園小学校一般	アニメーション映画　毎夜，幽霊がさまよい出ると噂されるカンタビル屋敷に，アメリカ大使の一家が住むことになったが…この映画は，19世紀末にイギリスで活躍した作家オスカー・ワイルドの短編小説「カンタビルの幽霊」を子ども向けに再構成したものです。

※その他ビデオカメラ一式（VHS）を貸し出しています。学校行事，研究発表等の収録にご利用ください。
詳しくは，高萩市・北茨城市及び十王町視聴覚ライブラリー協議会へ　☎23－7174

文化会館催しもの

エムパイヤブラス
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
クインテッド

信じられない程のみごとなテクニックと明るいステージ・マナーで、聴衆にコンサートの楽しさを満喫させてくれるスーパーブラス。
幅広いレパートリーを、自由自在に吹きこなすこのグループは、内外で批評家の絶賛を浴びています。一九八二年に初来日で人気急上昇、八四年、八五年に続き三年連続四度目の来日です。
とき　九月二十七日(土)
　　午後二時開演
入場料　A席　二、〇〇〇円
　　B席　一、五〇〇円
　　（当日二〇〇円増）
入場券発売中

親子劇場
「ジャックと豆の木」

とき　十月二十五日(土)
　　午後一時開演
入場料　一、〇〇〇円
　　（大人も小人も同額）
入場券発売日　九月二十一日(日)

新日本フィルハーモニーオーケストラ

指揮　手塚　幸記
バイオリン　宗　倫匡
ベートーベン＝運命ほか
とき　十月二十六日(日)
　　午後二時三十分開演
入場料　A席　四、〇〇〇円
　　B席　三、五〇〇円
入場券発売中

映画　植村直己物語

とき　十一月十六日(日)
　　午前十一時、午後二時
入場料　大人一、〇〇〇円
　　高校生八〇〇円
　　中学生以下七〇〇円
入場券発売日　十月十九日(日)

プレイガイド★★★★★★★★★★★★★★★
田所書店、仲屋書店、深谷書店、コミュニティストア上島名ねもと・高浜やおけん、野木商店、日立市民会館、ピアノマート（磯原）、文化会館（☎二三－七四一一）

こんにちは保健婦です

かむことを忘れていませんか

最近、子どものあごの力が弱くなっていることが問題になっています。柔らかいものばかり食べているとあごの発育が悪く、歯並びにも影響します。

かむこととからだの関係

★消化の手助けをする

食べたものを細かくし、だ液とよく混ざると胃に入ったときに消化されやすくなります。特にだ液のプチアリンという酵素は、ごはんやパンなどのでんぷんを糖質に変えるので、胃に入る前に消化・吸収の準備ができることになります。

★口の中をきれいにする

かたいものをかむことによって、ほかの食べかすを取り除き、歯垢をつきにくくします。

★よくかむ子は頭がよい

「かむ」という運動は、脳に近いところでたくさんの神経がかかわって行われるので、脳にはとてもよい刺激になり、俗に頭をよくするといわれます。

かまない食事がかめない原因

●食事に添えたいおかず

じゃこと野菜のかき揚げ、ひじきと大豆の煮物、手づくりのふりかけ（青菜と桜えびなど）

●おやつに加えたいもの

ごまトースト、ピーナツ、するめ、煮干しのからいり、チーズの包み揚げ、りんご

おのせゆうたくん（2歳）
あきなちゃん（2歳）と
お母さんの則子さん
（秋山）

ゆうたくんがお兄ちゃん。お庭にプールを出して，水遊びをするのが大好きなの。

仲良く遊んでいたかと思うと，すぐ，おもちゃのうばいあいでけんかになる。元気な2人です。

高萩市民“健康まつり”

―子どもの健康を考える―

高萩市医師会と高萩市健康づくり推進協議会では，市民の健康づくりをすすめるため，“健康まつり”を下記のとおり行います。市民のみなさん，ぜひご参加ください。特にお子さんを持つお母さんがた，この機会に子どもの健康について一緒に考えてみましょう。

と　き　9月20日(土)，午後1時30分から
ところ　高萩市中央公民館
内　容　(1)講　演
①「小・中学生の健康づくり」
茨城県医師会長　小川　清先生
②「健康づくり―幼児・小児期からの戦略―」
茨城大学教授　向井　幸生先生
(2)発　表
①ＰＴＡ(親)の立場から望むこと
高萩市ＰＴＡ連合会など
②乳幼児健診の結果から
保健婦
(3)懇　談
主　催　高萩市医師会
高萩市健康づくり推進協議会
後　援　高萩市，高萩市教育委員会
高萩市ＰＴＡ連合会

胃集団検診の追加について

七月に胃集団検診を実施しましたが、追加として左記のとおり行います。希望されるかたは、九月二十二日(月)から九月二十七日(土)までに、電話あるいは直接衛生課に申し込みください。

実施日　十月十三日(月)
十四日(火)
受　付　午前六時～七時三十分
対　象　三十歳以上の男・女
料　金　五〇〇円
会　場　高萩市役所
※申し込み・問い合わせは、市役所衛生課まで
☎二三―二一一一
内線三六三・三六四

《サッカーで汗を流してみませんか》

高萩サッカースポーツ少年団が新たに結成され、現在、団員を募集しています。

対　象　小学四年生から六年生までの男・女
練習日　毎週日曜日
練習会場　高浜運動広場または、高萩小学校

※詳しくは、宮島紀雄☎二三―二三三二または、市民体育館☎二三―二五五二へ

幼稚園、小・中学校の運動会

九月七日　松中
九月十四日　君小・横小・君中
九月二十一日　松小・高中・秋中
九月二十八日　高小・秋小・東小
十月五日　東幼稚園
十月十二日　松岡幼稚園
十月十九日　秋山幼稚園
第一幼稚園

「高萩・昔・むかしテレフォンサービス」のおしらせ

ＮＴＴ高萩電報電話局では、昔から語り継がれている、民話や伝説をシリーズで紹介する「高萩・昔・むかし　テレフォンサービス」を実施しています。

九月は、「へび女房」、十月は、「八幡太郎と堅破山」で、これらのお話は高萩市教育委員会発行の「高萩の昔話と伝説」を参考としたものです。☎二四―〇〇〇〇で、テレフォンサービスをお楽しみください。

第6回市民総合体育大会

期日	大会名	会場
十月十二日	兼第三十八回軟式庭球大会	高浜運動広場テニスコート
十月五日十日	兼第七回ソフトボール大会	高浜運動広場球技場
十月五日	兼第十三回卓球大会	市民体育館
十月十二日	兼第十二回バレーボール大会	市民体育館
十月十九日	兼第十一回バトミントン大会	市民体育館

※詳しくは市民体育館へ（☎二三―二五五二）

昭和61年度文化祭展示・発表部門一般募集

今年度文化祭を開催するにあたり，市民の芸術文化愛好者のかたがたの参加をお待ちしています。

●展示部門　展示期間：11月2日(日)～4日(火)　文化会館・中央公民館

種別	内容
美術	○大きさ等　1人1点，50号まで。必ず額縁に入れること。 ○種　類　日本画・油彩・水彩・版画 ○資　格　市内在住・通勤者 ○申　込　11月1日(土)，9:00までに文化会館へ ○連絡先　針生　進　☎23－5565
川柳	○5・7・5を基本とし，社会または人間風詠とすること。 ○申　込　10月9日(木)までに社会教育課へ ○連絡先　樫村　一歩　☎23－3644
短歌	○自作短歌一首　※高萩短歌会にて色紙に書き展示 ○申　込　10月15日(水)までに官製はがきで 樋渡　文子(大和町2―59)　☎22－2202
書道	○書体自由 作品の仕上り寸法は，Ⓐ60cm×21cm(縦のみ)　Ⓑ60cm×180cm(縦横自由)　Ⓒ90cm×90cm 以内とする。 ○申　込　10月15日(水)までに，荒井　豊流(春日町1―2　☎22－2310)

●発表部門　発表日：11月2日(日)…琴　11月3日(月)…民謡　文化会館ホール

種別	内容
琴	○曲目は相談の上決定 ○申　込　9月30日(火)までに，原瀬　美子(本町1―19　☎23－2302)
民謡	○民謡発表(唄)　※募集は若干名 ○申　込　9月30日(火)までに官製はがきに，住所・氏名・電話番号を明記のうえ，樋渡　喜一(大和町2―59　☎22－2202)

第十三回市民音楽祭出演者募集

市民の音楽愛好者及び団体の参加で、楽しい音楽祭を計画しています。ふるって参加してください。

とき　十一月二十三日(勤労感謝の日)
午前十一時～午後四時
(出演団体により変更有)

ところ　文化会館

※参加希望のかたは、教育委員会社会教育課へ☎二三―一一三一

手づくりの年賀状をつくってみませんか

作って楽しい年賀状、もらってうれしい年賀状、自分だけの年賀状をつくってみましょう。

とき　十月三日(金)、十六日(木)
午後六時～八時

ところ　中央公民館

内容　版画、一般

人員　先着三十人

参加費　無料(材料費は実費です。)

申込　九月二十七日(土)までに、電話で社会教育課へ

☎二三―一一三一

KDD主催の映画会が開かれます

とき　10月3日(金)　開場 18:00　開演 18:30

ところ　高萩市文化会館ホール

上映映画　「花も嵐も寅次郎」
「グローバル・コミュニケーション」

入場料　無　料

その他　入場に際しては整理券が必要です。整理券は，9月3日(水)から先着900名のかたにKDD茨城衛星通信所警備員室にて配布しています。配布時間は，午前10時から午後4時までです。

公給領収証を受け取りましょう

公給領収証とは、飲食店やスナック、旅館などを利用される際に、店の経営者が茨城県に代わって、料理飲食等消費税を利用者から受け取ったしるしとして発行する領収証です。

この税金は、県の事業の重要な財源になっていますので、飲食店やスナック、旅館などを利用される際には、必ず公給領収証を受け取るようお願いします。

※詳しくは、高萩県税事務所（☎二二―二五八六）へお問い合わせください。

危険物取扱者試験のおしらせ

昭和六十一年度第二回危険物取扱者試験が、次のとおり行われます。
(日立地区会場)

とき　十一月九日(日)

ところ　日立一高

受験願書受付日及び場所
十月六日(月)、七日(火)
県立中小企業福祉センター

※詳しくは、高萩市・十王町事務組合消防本部へ☎二二―二二五八

日曜当番医

9月28日	飯島医院	大和町	22－2235
10月5日	内田病院	大和町	22－2137
10月12日	樋渡医院	大和町	22－2202
	十王医院	十王町	32－3266
10月19日	石病院	東本町	23－1711
10月26日	全生堂医院	本町	22－2306

時間は、いずれも午前9時から午後4時までです。

永い年月には工場もいろいろと変わるもので，昔は人絹工場であり，戦中は日製の軍需工場でもありました。そして戦後は平和産業として日本加工製紙が生きています。

高萩美術協会員　**真鍋　博**

善意ありがとう

○高浜西子ども会　高浜町
七千八百円　社会福祉へ

○松岡小児童会
一万一千七百十一円　社会福祉へ

○安斎　定二さん　高萩
五万円　社会福祉へ

○玉川常会　本町
五千円　社会福祉へ

◆寄贈・高萩市へ

○常陽銀行高萩支店
十万円　台風十号災害見舞金

◆寄贈・図書館へ

新本寄贈

○大高　徳次さん　安良川

古書寄贈

○茂木　勝男さん　大和町

○多木　盛夫さん　本町

○斉藤　収弘さん　本町

○沼田　貢さん　秋山

◆寄贈・勤労青少年ホームへ

○難波　譲治さん　有明町

図書（新日本文学全集三二冊）

受講生を募集します！

～勤労青少年ホーム各種講座～

- 対象者　市内に居住または勤務する独身の男・女
- 実施期間　61年10月から62年3月までの月3回
  時間は，午後6後30分から8時30分までです。
- 申込先　9月25日(木)までに勤労青少年ホームへ　☎23－7177

募集講座

（敬称略）

講座名	実施日	受講料	講師名	募集人員
茶道教室	火曜日	月 1,500円	瀬戸　房子	20人
着付教室	水曜日	1,000円	宇佐美幸子	20人
書道教室	木曜日	1,500円	田中　陽子	20人
いけ花教室	金曜日	3,000円	早川　ハギ	20人
料理教室	木・金曜日	3,000円	梅原　令子	各15人

第19回　体力づくり市民歩く会のおしらせ

とき　十月十日（体育の日）
コース　市役所から名馬里が淵往復（約十七・五km）
出発時間　午前八時三〇分
参加者　健康なかたならだれでも参加できます。
※詳しくは、市民体育館へ
☎二二三－二五五二

第八回高萩ライオンズクラブチャリティゴルフ大会

とき　十一月十六日(日)
ところ　高萩カントリークラブ
参加料　三千円（先着二百名）
申込先　常陽銀行高萩支店
ライオンズクラブ事務局
☎二二－二〇六四

9月の納税

国民年金（2期）

納期限　9月30日

～人口と世帯～

		前月比
人口	34,253	(+67)
男	16,864	(+31)
女	17,389	(+36)
世帯	10,260	(+10)

（昭和61年8月1日現在）